

和光市における協働事業の検証（報告書）

●事業の概要

事業名	新倉ふるさと民家園管理運営業務委託
-----	-------------------

事業主体	事業実施団体	行政（担当課）
	和光市古民家愛好会	生涯学習課

事業費 (委託料)	予算額	決算額
	5,779,000円（H27予算） 5,281,873円（うち委託料）	5,589,197円（H26決算） 5,249,575円（うち委託料）

事業内容	<p>平成18年6月17日に開園した「新倉ふるさと民家園」の管理運営業務を行う。</p> <p>新倉ふるさと民家園は、和光市指定文化財「旧富岡家住宅」の移築復元後した施設であり、この旧富岡家住宅は、およそ300年前に創建されたと推定され、埼玉県内で最古の部類に入る歴史的価値の高い建造物である。東京外郭環状道路建設に際し、解体を余儀なくされたが、所有者の富岡氏から部材の寄付の申入れがあり、市は旧富岡家住宅を移築復元し、新倉ふるさと民家園として市民に開放した。</p>
------	--

事業の年間スケジュール (別紙可)	別紙参照
----------------------	------

●事業の成果

事業の成果指標または、目標を定めていますか。 はい いいえ

「はい」と回答した場合、指標の内容をご記入ください

	年度当初	年度末実績（想定）
事業成果 指 標		

コメント	
------	--

「いいえ」と回答した場合、その理由は何ですか。

成果や目標等の数値を定めることについては常々考えてはいるが、数に固執せずに運営を行いたいという思いがあり、数値についてはあえて定めていない。昨年度、餅つきのイベントに、600名弱の参加者があり、イベント自体は盛況であったが、長蛇の列ができるなど、一部運営に支障をきたした経験から、団体のできる範囲で運営を進めたなどの考えにいたり、目標等を設定していない。

今年度、予想していなかった事業の成果はありましたか。 はい いいえ

「はい」と回答した場合、どのような事業成果があったかをご記入ください。

6月の「麦秋祭」でさつまいも掘りを、10月の「収穫祭」でじゃがいも掘りを行ったが、例年と比べ、家族での参加が多数あった。

また、「江戸端唄」に関する事業を行ったところ、想定以上の100名程度の参加があり、古民家内の土間に座りきれない事態となった。江戸端唄については、リピーターが多いのも特徴である。

●協働の結果

(1) プロセスの積み重ね

- ① 事業進捗状況の報告を定期的に行っていますか。 はい いいえ
- ② 問題が生じたときに、すぐに話し合えましたか。 はい いいえ 該当なし

上の①～②までの項目で、「いいえ」と回答したものがあった場合、どのようなことでできなかったか、どうあれば良かったかをご記入ください。

(2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築された場合、その内容を具体的に

に下の左欄に記入し、このつながりや連携を今後の協働事業の展開にどのように活かそうと考えているかを右の欄にご記入ください。

(新しいつながりや連携の構築がなかった場合、この欄への記入は不要です。)

【具体的内容】 従来からいる「古民家サポーター」が新しいサポーターを紹介し、入会している事例がある。	【つながりや連携の活用】 古民家サポーターの紹介により、PCの専門家に新たにサポーターになってもらい、古民家が運営する「HP」の作成や更新、管理等を行っている。 また、新たなサポーターを中心とした「畑グループ」が新しく立ち上がり、古民家が運営する「畑」の維持管理を行っている。
--	---

(3) 市民満足度の向上

アンケートの実施など事業に対する受益者の満足度について調べていますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたのかを、「いいえ」と答えた方は、その理由を下欄にご記入ください。

特に満足度等を調べる事はしていないが、利用者の意見募集のための「利用者の声」のような用紙を用意し、利用者の声を運営に反映できるよう努めている。 また、利用者に対し直接声掛けをするなどして、感想を聞いている。
--

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

- | | | |
|---------------|-------------------------------------|---------------------------|
| ①「相互理解の原則」 | <input checked="" type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| ②「目的・評価共有の原則」 | <input checked="" type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| ③「自立の原則」 | <input checked="" type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| ④「対等の原則」 | <input checked="" type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |

上の①～④までの項目で、「いいえ」と回答したものがあつた場合、どのようなことで取り組めなかつたか、どうあれば良かつたかをご記入ください。

--

⑤「役割分担明確化の原則」に則って事業に取り組めましたか。 はい いいえ
「はい」と回答した場合の役割分担をご記入ください。

団 体	行 政
別紙参照	別紙参照

「はい」と回答した場合、役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

--

⑥「情報公開の原則」に則って事業に取り組めましたか。 はい いいえ

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

【PR事例】 団体及び市のHP、広報わこう、市の掲示板にチラシを掲示、地元密着型フリーペーパー「ぽど」	【社会的認知度の向上】 餅つきや収穫祭など、地域のイベントとして市民の間に定着してきた。(いつ頃やるのかとの問い合わせが多数ある。)
---	--

(5) 協働の成果

協働することで、団体、市、市民それぞれにどのようなメリットがありましたか。

【団体のメリット】 月に一度の「連絡調整会議」を開催することにより、行政に対する意見や考え方を共有しやすい。また、お互いに「お願い」や「注文」をしやすくなった。 市の方針に沿いながら、自分達のやりたい事ができる。

【市のメリット】 (分かる範囲でご記入ください)

上記の「連絡調整会議」を通じて、市民目線での課題を発見することができる。
隅々まで目が行き届いた維持管理等ができています。

「古民家」に愛着のある市民団体が運営を行うことにより、古民家ならではの事業やイベントが開催できる。

【市民のメリット】

市民目線で運営することにより、市民がより楽しめるような事業やイベントが行われている。また、市民の「体験」、「憩い」、「安らぎ」、「学習」の場となっている。

事業を実施していく中で、改善が必要だと思われることはありますか。

「連絡調整会議」を通じて、改善が必要だと思われることは、常に意見交換を行い、改善に努めている。

(6) その他

上記以外で、協働事業の成果として特にアピールしたいものがあれば、下の左の欄にご記入ください。また、それが今後の協働事業の発展にどのように貢献すると考えているか、右の欄にご記入ください。

(特にアピールしたいものがなければ、この欄への記入は不要です。)

【成果のアピール】

デイサービスを利用している「普段あまり喋らない高齢者」が古民家を訪れた際に、過去の思い出を色々話しはじめ、職員が驚いていた事例がある。これは、団体の維持管理により、古民家を「居心地の良い場所へ」できていることと考える。

市の定めた方針に沿いながら、サポーターの自主性のもと、リタイア後の「生きがい」・「やりがい」の場となっている。

【事業の発展への貢献】